

## 事業中評価チェックリスト

				番号			
事業名	道路事業(改築)		路線・河川 ・地区等名	一般国道112号 みのりばし 実生橋		施行場所	酒田市山居町
評価該当 基準	事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業 (山形県(県土整備部)公共事業評価実施要領 5-(1)-イ-(イ))					実施主体	山形県
採択 年度	事業期間		全体事業費(進捗度%)			事業延長等 (供用延長等)	L=100m (うち橋梁部 L=43.1m)
	当初	前回	今回	当初	今回		
R3	8年	8年	13年	14.7 億円	36.5 億円	(15.7%)	事業概要 (主要工事 内容)  橋梁架け替え、 交差点改良
	(目標年度)		前回	工事費	30.7 億円	(4.4%)	
	(R10)	(R10)	(R15)	用地・補償費	2.6 億円	(77.6%)	
			測試費等	3.1 億円	(74.8%)		
<b>事業の目的(地域性・特質性)</b> ・一般国道112号は、山形市と酒田市を結ぶ主要幹線道路で、当区間は緊急輸送道路に指定されている重要な路線。 ・実生橋は、昭和11年架設のコンクリート橋であり、老朽化や塩害に伴い、主桁に大きなひび割れやコンクリート剥離が生じていることなどから、早期の架け替えが必要とされているため、橋梁を更新し、交通円滑化と安全安心の確保を図る。							
<b>事業の実施状況</b> ・R3~4 橋梁詳細設計、道路設計、用地測量 ・R5 井戸調査、工損調査 ・R6 磁気探査、用地買収 ・R7 作業構台設置							
<b>上位計画、その他事業との関係(各上位計画で定めている項目を表すコード)</b> ・第4次山形県総合発展計画 → 持続可能で効率的な社会資本の維持・管理の推進(5-5) ・山形県道路中期計画 2028 → 予防保全型維持管理などによる計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理(施策⑥)							
<b>今後の事業の見通し</b> ・R7年度より橋梁工事(仮設工)を開始。引き続き、関係機関と調整しながら早期の完成を目指す。							
<b>事業を巡る社会経済情勢等の変化</b>							
① 国、県の政策や 計画の転換等	R7年3月:「第4次山形県総合発展計画 後期実施計画」策定 H31年3月:「山形県道路中期計画2028」策定(R6年3月改訂)						
② 財政状況の変化	道路整備の事業費が減少している厳しい状況にあるが、「緊急輸送道路の強化の推進」、また、「道路施設の長寿命化(適切な更新)」として、最優先で進めていくこととしている。						
③ 事業実施地域の 周辺環境の変化	酒田港の商業施設「サカタント」(R4.9)や「いろは蔵パーク」(R7.3)がオープンし、酒田港港湾計画に小型クルーズ船の埠頭が追加されるなど、周辺にぎわいが増しており、当箇所は観光周遊ルートとしての重要性が高まっている。						
④ 地元の協力体制の 変化	R7年度には用地の取得も完了予定であり、地元協力体制は良好である。						
⑤ 利用者見込み者数 の大幅な変化	最寄りの新内橋4車線化(R4.10)により実生橋の交通量が減ると想定していたが、交通量はほとんど変化していない(約10,000台/12h:R7.4)。						
⑥ 代替方策による 必要性の変化	架替位置は、最も経済的なルートを選定し、地権者、港湾管理者、酒田市、酒田警察等関係者は了承済みであることから代替方策はない。 また、事業の必要性に変化はない。						
⑦ その他	特になし						
<b>事業の投資効果</b>		(凡例) ● 貨幣換算し、費用便益分析における便益(B)に計上している事業効果 ○ 貨幣換算する手法が確立されていないものの、事業により得られる効果の例					
投資効果	○築89年を経過した老朽橋を新橋に架替えることで、道路の安全性が向上する。 ○道路幅員の確保により、走行性・安全性の向上が図られる。						
<b>B/C</b>				<b>B/Cの代表的な分析指標</b>			
社会的割引率	当初	前回	今回	総便益の現在価値 (B)		- 億円	
	4%	-	-				
	2%(参考値)	-	-				
1%(参考値)	-	-	総費用(事業費+維持管理費)の現在価値 (C)		- 億円		
<b>●コスト縮減・○代替案等の可能性</b> ●他工事で発生した土砂や仮橋材料を流用することでコスト縮減に取り組んでいる。 ○架替位置は最も経済的なルートで、用地買収が完了し、R7から仮設工(作業構台)に着手するため、代替案の可能性はない。							
<b>当初又は前回評価時より事業費・事業期間が増減する理由(計画どおりの場合は空欄)</b> ・周辺道路における渋滞抑制及び観光周遊ルート確保のためのう回路整備(仮橋)に伴う工事費、事業期間の増加 ・港湾管理者等関係機関との協議・調整による調査費、及び橋梁拡幅や交差点改良に伴う工事費、事業期間の増加 ・資材単価や労務費等の上昇および諸経費の補正増に伴う事業費の増加							
評価区分	継続B	評価の 理由	事業の効果や重要性、地域の期待・協力を総合的に判断し継続したい。				